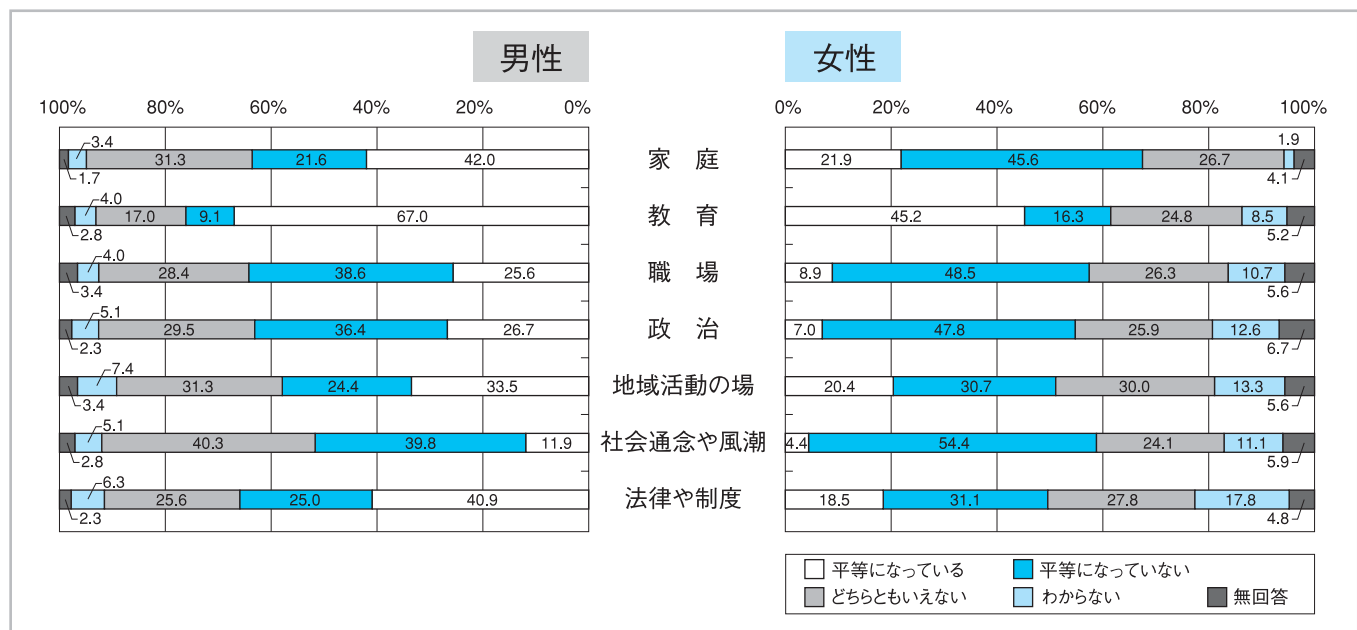




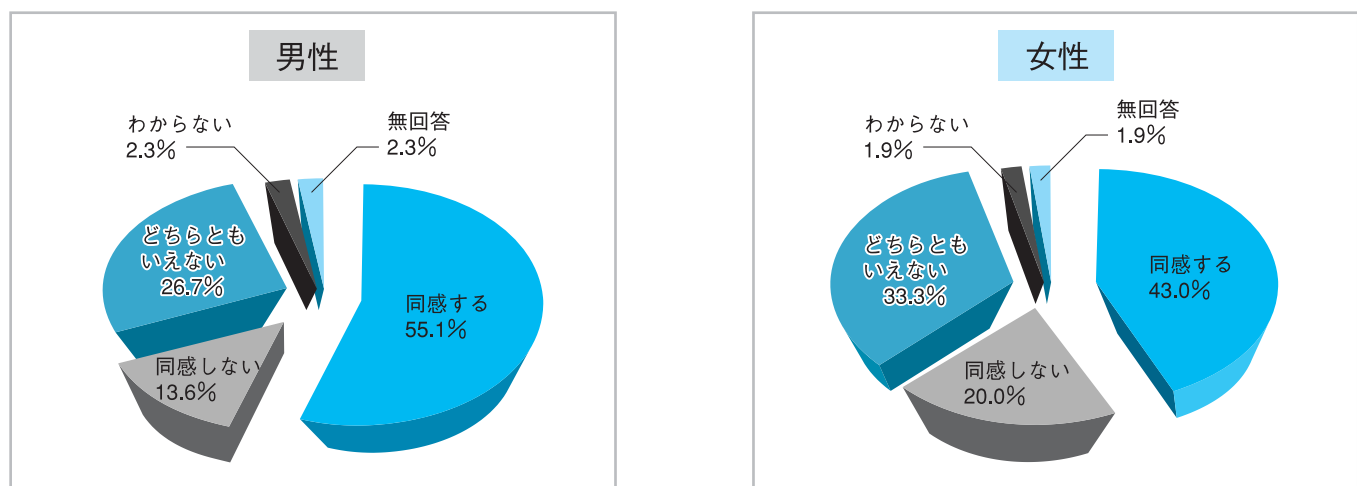
1 次にあげる7つの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか？



ここでは、7つの分野で、男女が平等になっているかについて調査しました。「男女が平等になっている」と思う分野で最も多いのは「教育」で、男性が67.0%（前回50.9%）、女性が45.2%（前回45.1%）となっています。逆に最も少ないのは「社会通念や風潮」で、男性が11.9%（前回8.0%）、女性が4.4%（前回5.6%）となっています。この傾向は前回の調査と同様となっています。

また、女性のほうが、「平等になっていない」と感じている割合が高く、男性のほうが「平等になっている」と感じている割合が高くなっているのが特徴です。

2 「男は男らしく、女は女らしく」という考えがありますか、あなたはこの考えに同感しますか？



「男は男らしく、女は女らしく」という考え方に「同感する」と答えたのは、男性が55.1%（前回49.7%）、女性が43.0%（前回35.9%）と男性の割合が高いのに比べ、逆に「同感しない」と答えたのは、女性が20.0%（前回17.3%）に対し、男性が13.6%（前回15.0%）と女性の割合が高くなっています。

一方、「どちらともいえない」と考える割合は、女性が33.3%（前回44.4%）で、男性の26.7%（前回31.0%）を上回っています。

このように、男女間で意識の較差が生じていますが、これは、これまでの歴史的背景や慣習、長年の間に形成された通念によるものと考えられます。



特集「男女共同参画」 あなたはどう考えますか？

～男女共同参画に関する町民意識調査結果から～

町では、平成15年6月に実施した男女共同参画に関する町民意識調査から5年余りが経過した昨年、男女に関する意識と実態を把握し、「寄居町男女共同参画推進プラン」の見直しの基礎資料とするとともに、今後の施策に反映させていくことを目的に、再び、町民意識調査を行いました。今回の特集ではその調査結果の概要をお知らせします。

問い合わせ／人権推進課（☎581・2121内線411）へ。

- 調査対象は：** 寄居町在住の満20歳以上の男女、1,200人を対象に行いました。
- 抽出方法は：** 住民基本台帳から無作為に男女比、年齢比がほぼ同じになるよう抽出しました。
- 調査方法と期間** 調査は、郵送配布により、昨年9月11日から25日までの期間で行いました。
- 回答数は：** 1,200人のうち、458人から回答をいただきました。回答率は38・2%で、回答者の男女比は、男性38・4%（176人）、女性59・0%（270人）、不明2・6%（12人）でした。
- 前回調査との相違点** 調査対象から「寄居町内に勤務している男女」という枠を外し、すべて無作為抽出としました。また、前回町で調査した項目に加え、平成18年に埼玉県が実施した調査項目を取り入れ、全部で25項目としました。
- 調査の結果は：** 主な項目についての結果は次のとおりです。各グラフの構成比は、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計が100パーセントを上回る場合があります。